

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: 高密度集積基板用はんだ SD-51	: 精密プリント基板用はんだ SD-52
	: 電子工作用はんだ SD-53	: 模型工作用はんだ SD-54
	: 家庭電気器具用はんだ SD-55	: うずまきはんだ SD-201
	: 鉛フリーリール巻はんだ SF-B□ <sup>1</sup> □ <sup>2</sup> □ <sup>1</sup> = 10,40,80 □ <sup>2</sup> =03,04,06,08,10,12,16	
会社名	: 太洋電機産業株式会社	担当部門 : 技術部
住所	: 〒720-0092 広島県福山市山手町 2-16-8	
電話番号	: 084-951-1512	FAX 番号 : 084-951-9531 E-mail : info@goot.co.jp
作成	: 2006年2月13日	改訂 : 2017年9月29日

## 2. 危険有害性の要約

&lt;GHS 分類&gt; ※分類対象外を除く

水反応可燃性化学品	: 分類できない
金属腐食性物質	: 分類できない
急性毒性(経口)	: 区分外
急性毒性(経皮)	: 区分外
急性毒性(吸入: 気体)	: 区分外
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 区分外
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
目に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分外
呼吸器感作性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発ガン性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	: 区分 1
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水環境急性有害性	: 区分外
水環境慢性有害性	: 区分外

&lt;絵記号又はシンボル&gt;



&lt;注意喚起語&gt;

・危険

&lt;危険有害性情報&gt;

・長期又は反復ばく露による臓器の障害

&lt;注意書き&gt;

【予防策】

・粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

**【対応】**

- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・皮膚(又は毛髪)に触れた場合 : 多量の水と石鹼であらうこと。
- ・ばく露又はその懸念がある場合 : 医師の診断、手当てをうける。
- ・気分が悪いとき : 医師の診断、手当てをうける。

**【保管】**

- ・容器にいれて保管すること。

**【廃棄】**

- ・国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : ヤニ入はんだ

<濃度又は濃度範囲>

成分	含有量	化学式又は構造式	官報公示整理番号(化審法)	CAS No.
錫	95.9%	Sn	対象外	7440-31-5
銀	0.29%	Ag	対象外	7440-22-4
銅	0.68%	Cu	対象外	7440-50-8
変形ロジン	3.13%	---	対象外	---

**4. 応急処置**

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼水でよく洗浄する。
- 眼に入った場合 : 清浄な水で十分に洗眼し、その後必要に応じて医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐出し、その後必要に応じて医師の手当てを受ける。
- 最も重要な兆候及び症状 : 知見なし
- 応急処置をする者の保護 : 知見なし

**5. 火災時の措置**

- 消火剤 : ドライケミカル、エアフォーム、二酸化炭素(水系は除く)
- 使ってはならない消火剤 : 水。金属が溶融しているときは注水厳禁。
- 特有の消火方法 : 消火作業は可能な限り風上から行う。 付近の着火源を速やかに取り除く。
- 消火を行う者の保護 : 消火時は風上に立ち、呼吸用保護具を着用してガスを吸入しないようにする。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- ・回収作業は風上から行い、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどを着用する。

環境に対する注意事項

- ・下水、及び公共水域に流出しないようにする。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材:

- ・漏出物は冷却後、掃き取るか又は掃除機ですいとり、空容器等に回収する。
- ・回収物の処理は「13 廃棄上の注意」を参照。

二次災害の防止策

- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火材を準備する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】

- 技術的対策 : 素手で取り扱ってはならない。  
 局所排気・全体換気 : 屋内作業場における取り扱い場所では、局所排気装置を使用する。  
 安全取扱注意事項 : 保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用する。

【保管】

- 技術的対策 : 冷暗所に保管する。  
 保管条件 : 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に保管すること。  
 混触危険物質 : 高温条件、強酸・強酸化剤との接触

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 使用時は局所排気を行う。  
 管理濃度 : 設定されていない。  
 許容濃度 : ACGIH TWA 2009年(錫) 2 (銀) 0.1 (銅) 0.2 単位= mg/m<sup>3</sup>  
 : 日本産業衛生学会 2009年(錫) --- (銀) 0.01 (銅) --- 単位= mg/m<sup>3</sup>

【保護具】

- 呼吸器の保護具 : 保護マスク  
 手の保護具 : 保護手袋  
 眼の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型)  
 皮膚及び身体保護具 : 必要に応じて、作業衣、保護長靴、保護前掛けを使用する。  
 衛生対策 : 作業後、よく手を洗い、うがいをしてから喫煙、飲食をする。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色 : 金属線  
 臭い : 無し  
 PH : データ無  
 融点・凝固点 : 217-221°C (金属融点)  
 可燃性 : 無し  
 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データ無  
 引火点 : 無し  
 自然発火温度 : 無し  
 蒸気圧 : データ無  
 蒸気密度(空気=1) : データ無  
 比重(密度) : 6.1(20°C)  
 溶解度 : 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 常温では安定。  
 危険有害反応可能性 : 金属のため、強酸・強酸化剤と反応する。

避けるべき条件	: 高温条件、強酸・強酸化剤との接触。
混触危険物質	: 強酸・強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 知見なし
皮膚腐食性・刺激性	: 知見なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 知見なし
呼吸器感受性	: 知見なし
皮膚感受性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: [銀] 臓器(呼吸器系)の障害 : [銅] 気道刺激性(呼吸器)への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: [錫] 長期または反復ばく露による臓器(肺)の障害 : [銀] 長期または反復ばく露による臓器(呼吸器:吸入)の障害 : [銅] 長期または反復ばく露による臓器(肝臓)の障害
吸引性呼吸器有害性	: 知見なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: 知見なし
残留性/分解性	: 知見なし
生態蓄積性	: 知見なし
土壤中の移動性	: 知見なし
他の有害影響	: 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

## 13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託する。 金属成分はリサイクル可能。

## 14. 輸送上の注意

【国際規制】	
Class 国連分類	: 非該当
UN No.(国連番号)	: 無
品名(国連輸送品名)	: 無
容器等級	: 無
海洋汚染物質	: 非該当
【国内規制】	
特別の安全対策	: 運搬に際しては転倒、落下、破損、荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: [錫] 表示/通知すべき有害物 (施行令第 18 条の 2) 322 ずず及びその化合物 : [銀] 表示/通知 (施行令第 18 条の 2) 137 銀及びその水溶性化合物 : [銅] 表示/通知 (施行令第 18 条の 2) 379 銅及びその化合物
---------	---

大気汚染防止法	:非該当
水質汚濁防止法	:非該当
下水道法	:施行令第9条の4 銅及びその化合物
土壌汚染対策法	:非該当
化学物質排出把握管理 促進法(PRTR法)	:第1種指定化学物質(第82号:銀及びその水溶性化合物)
毒劇法	:非該当
欧州 RoHS 指令	:対応(閾値をこえる含有は無い)

#### 16. その他の情報

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供のものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解したうえで、活用されるようお願いいたします。記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。本資料に含まれる特性値等は、代表値であり、品質保証値ではありません。